

一関文化センター 大ホール



所在地：岩手県一関市大手町2-16
敷地面積：14,845㎡
延床面積：12,017.119㎡
構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
地下1階、地上4階、塔屋階1階建
ホール客席数：固定席1,205席、車椅子スペース6席、母子室2室(全6席)
施主：一関市
施工：(株)電友社
竣工：2015年3月

S354

1984年の開館から30年にわたり芸術文化を発信してきた一関文化センター大ホールが照明設備をリニューアル。舞台照明器具、客席照明器具および調光制御機器に最新設備を導入し、照明演出の自由度と省エネ性を向上させました。

岩手県南部の芸術文化の拠点として30年の歴史をもつ一関文化センター

仙台と盛岡の中間地点に位置し、「平泉」など周辺観光地への玄関口にもなっている一関市。その市街中心部にある一関文化センターは、大、中、小の3つのホールを備え、コンサートや演劇、ミュージカル、歌舞伎、落語または講演会など大小さまざまなイベントに利用されてきた岩手県南の芸術文化の拠点施設です。

開館から30年を経た2015年春、老朽化対策として大ホールの改修工事が行われ、照明設備が全面的にリニューアルされました。

フルカラーLEDホリゾンライトなど最新の舞台照明設備を採用

舞台の照明は、既存のハロゲン器具に代えて消費電力を大幅に抑えられるLED器具が採用されました。アッパーに48台、ローアに24台を直線に並べたホリゾンライトは、既存器具とリプレースできるコンパクトなフルカラーLEDホリゾンライト5色タイプ(消費電力140W)。赤、緑、青、白の4色に青緑がプラスされており、ワイドな青の色域を生かして舞台向けに適した多彩な色表現が可能となりました。地明かりをつくるボーダーライトには12灯4回路式LED器具(消費電力159W)を3列配置。Ra95の高演色タイプであり、衣装やセットの色を忠実に再現しています。

天井反射板ライトおよび客席天井照明は0%~100%で滑らかに連続調光できるLED光源の音響反射板ライト(消費電力83W)とシアター用ダウンライト(消費電力93W)に更新。

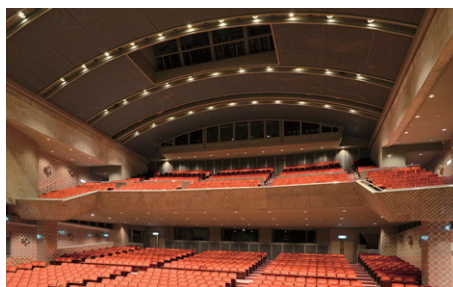
調光操作卓は最大2048回路まで制御できる「LICSTAR-IV Type S」に更新。複雑な色彩の設定や調整なども容易に行え、最大2000キューまで記憶可能。万一のトラブル時でも演目を継続できるCPU二重化バックアップ機能も備えています。また、多様な検出機能を有したインテリジェント形調光器盤「PLUG-IN DIMSTARⅢ」を導入したことで回路異常などの確認が迅速に行え、安全性が向上しました。



3列に並ぶLEDボーダーライトとLEDホリゾンライトによる舞台照明



ホリゾンライトによる多彩な色調



客席全景



調光室より舞台を望む



コンサート用舞台



舞台袖操作盤



LEDローアホリゾンライト

主な照明器具一覧				
設置場所	器具名	形名	台数	備考
調光室	調光操作卓	LICSTAR-IV TypeS	1	プリセットフェーダー 120本×3段/360本×1段、サブマスタフェーダー 20本×20ページ×6バンク、CPU2重化バックアップ機能、ワイヤレスシステム
調光器室	インテリジェント形調光器盤	PLUG-IN DIMSTARⅢ	1	2kW×2台、3kW×213台、4kW×8台、ハイブリッドディマー3kW×8台
舞台	LEDボーダーライト	AL-LED-BL-12-4	3列	平均演色評価数 Ra95
	LEDアッパーホリゾンライト	AL-LED-UH-5-C	48	
	LEDローアホリゾンライト	AL-LED-LH-L-5	24	R/G/B/EB/W 5色LED搭載
天井反射板	LED音響反射板ライト	AL-LED-ON-4-L	46	
客席	LEDシアター用ダウンライト	AL-LED-ON-6-2	55	0~100%の連続調光